



2025年3月3日

各位

会社名 株式会社アスタリスク
代表者名 代表取締役執行役員社長 鈴木規之
(コード番号:6522 東証グロース)
問合せ先 取締役執行役員管理統括室長 山本和矢
(TEL. 050-5838-7864)

【アスタリスク】独自の二次元コード「AsCode」の本格販売 ～大量の二次元コードを一括スキャン、物流・小売・製造業の業務効率化を実現！～

当社は、新二次元コード「AsCode」を正式にリリースし、本格的に販売を開始いたします。

本日、「AsCode」の読み取り速度を体験いただけるiOS向けのデモンストレーションアプリを公開いたしました。このアプリはAppStoreからダウンロード可能です。(※1)

また、3月10日(月)には、「AsCode」を生成のための無料ツールを提供するウェブサイトを公開予定です。同サイトでは、自由に「AsCode」を生成できるほか、生成用のAPIも公開。例えば、Excelのマクロに組み込むことで、Excelの表に記載されたナンバーを基にAsCodeを生成することも可能です。これらのサンプルプログラムも提供予定です。

さらに、システムに組み込むための開発ツール(SDK)の提供を行います(開発版:無償、利用版:有償)。これにより、各企業は自社の独自システムに「AsCode」を容易に導入でき、これらのソリューションの活用することで、業務改革を実現できます。

※1:今後、Android版、Windows版のデモアプリも順次公開予定です。





3月4日(火)から東京ビッグサイトで開催される「リテールテックJAPAN 2025」、「SECURITY SHOW 2025」では、「AsCode」を活用した最新のソリューションを展示いたします。「AsCode」の導入による圧倒的な処理速度と柔軟性で、物流・製造・小売の現場に新たな価値を提供してまいります。

「AsCode」製品サイト: <https://asreader.jp/lp/ascode/>

「AsCode」生成・購入サイト: <https://ascode-app.com/>

iOS向け読み取りアプリダウンロードサイト: <https://apps.apple.com/jp/app/id6742174728>

■「AsCode」の概要

「AsCode」は、「大量一気読み」をコンセプトに開発した革新的な二次元コードであり、シンプルな二次元配列を採用することで圧倒的な読み取り速度を実現したものです。従来のハンディーターミナルなどのリーダーをはるかに凌駕し、スマートフォンでも驚異的なスピードで大量シンボルの読み取りが可能です。



二次元コードシンボルの例(左:「AsCode」、右:QRコード(※2))

「AsCode」はシンプルな構造のため、読み取りが速い

さらに、「AsCode」はRFID技術と組み合わせた運用を想定し、RFIDで採用されているSGTIN (Serialized Global Trade Item Number)仕様に対応した独自の「ペア」コードの活用も実現しました。RFIDは見えない場所のタグを読み取る利点がありますが、「AsCode」は画像処理をしているため「どこを読み取っているのか」が明確なため、誤読を防ぎターゲットを正確に特定した読み取りが可能です。「AsCode」は、RFIDではできなかった現場での業務の代用として利用できるだけでなく、RFIDの補完としてRFIDと併用することが可能で、これらにより個別識別をより現実化させ、物流・製造・小売業におけるトレーサビリティ強化と業務効率化を強力に推進します。

また、「AsCode」は、スマートフォンに加え、さまざまなデバイスにも対応予定です。一例として、「AsCode」を固定カメラによるベルトコンベアや棚管理などで活用し、倉庫・工場・店舗の業務改善を支える新たなソリューションとして利用いただけるよう、企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)を加速させてまいります。

※2 QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



■「AsCode」の技術的な特徴

・大量一気読み対応の高速処理

「AsCode」は、大量のコードを一気に読み取ることを想定した高速仕様です。スマートフォンのカメラを活用しながらも、業務用端末と遜色ない速度で大量データを処理できます。

・回転や欠損を検出し正確な読み取りを実現

コードのコーナー部に位置情報を持たせているため、コードが回転していても正確に読み取れる設計です。さらに、コードの欠けた部分を自動的に検出し、データを復元する機能を搭載しています。

・縦横にわたるチェックビットで誤読防止

コード内に縦横方向のチェックビットを設けることで誤読を防止します。これにより、部分的な損傷があっても読み取り精度が高く、確実なデータ取得が可能です。

・複雑な構造・暗号化対応で偽造防止

「AsCode」は、複雑なコード構造と暗号化にも対応し、偽造防止機能を提供します。特に高額商品や医療・食品業界での活用が期待されます。

・ペア利用(カップル利用)が可能

「AsCode」では、ペアコードの定義が可能です。これは、RFIDのSGTIN仕様と同様の考え方を採用しており、商品Aと商品Bがセットで管理されるといった使い方ができます。例えば、商品と保証書や商品とアクセサリーの紐付けが簡単に行えます。

・グループ化による柔軟なコード管理

単体コードだけでなく、複数コードをグループ化する仕様を備えています。これにより、複数商品の一括管理や、グループ単位での在庫・配送管理が可能になります。

■個別商品管理が可能な「SGTIN」仕様について

SGTIN(Serialized Global Trade Item Number) は、商品ごとに一意のシリアル番号を付与する国際規格です。商品コードにプラスして一品ごとに背番号であるシリアル番号を付加した考え方であり、RFIDなどではこの規格が採用されています。この仕様により、同じ商品であっても「個別」商品を正確に管理することが可能になり、例えばレジでの正確な商品読み取りなどに利用されています。

「AsCode」は、このSGTIN仕様を取り入れることでRFID技術との併用も可能なため、従来のRFIDシステムとの連携も容易です。また、RFIDが使えない環境でも商品ごとの一意なシリアル番号により「AsCode」が有効な代替手段として活用できます。電波干渉の問題がある場所や、コスト面でRFID導入が難しいシーンでも「AsCode」が活躍できます。



「AsCode」では、この仕様を踏襲するような規格を考案したため、個別商品ごとのトレーサビリティを実現可能としました。

■「リテールテックJAPAN 2025」、「SECURITY SHOW 2025」で最新技術を体験可能！

3月4日(火)～3月7日(金)に東京ビッグサイトで開催される「リテールテックJAPAN 2025」、「SECURITY SHOW 2025」では、「AsCode」をはじめとする当社の最新技術を体験いただけます。

当社は3箇所の展示ブースを設け、そのテーマ及び内容は以下のとおりとなっております。

・Aブース(トータル流通システム / 東2ホール) :スマホが主役の業務改革ソリューション

・Bブース(リテール物流 / 東3ホール) :新技術を取り入れた革新的な商品管理

・Cブース(SECURITY SHOW / 東7ホール) :顔認証システムや3Dデジタルショーケース

※「AsCode」は上記いずれのブースにも展示しております。

今回は「AsCode」の圧倒的な読み取り性能を体験いただける絶好の機会となっております。新しい業務スタイルを切り拓く「AsCode」を、ぜひご体験ください。

以上